



# 一筆ごとに心を込めて！

17日（火）に「全校書き初め大会」が開かれました。「書き初め」は古く平安時代から日本に伝わる行事で、もともとは宮中で行われていた、年始に文書（吉書）を奏聞（そうもん）する「吉書の奏（きっしょのそう）」が起源だと言われています。現在は、新年に初めて書く文字のことを表しているようです。

3年生以上は体育館に正座して行い、それぞれの課題は、1・2年生が硬筆、3年「友だち」4年「明るい心」5年「新しい風」6年「将来の夢」でした。冬休みに練習してきたおかげでしょうか？どの子も真剣に用紙と向き合い、気持ちを落ち着かせて取り組んでいました。思い通りに書けずに首をかしげる子、会心の出来に笑みを浮かべる子、様々な表情の子どもたちを見ることが出来ました。



【今日のめあてを発表】



【1年生も真剣に!】



【2年生も集中しています】



【3年生は初めての毛筆】



【4年生はどうか?】



【5年生は余裕です】



【さすがは6年生!】



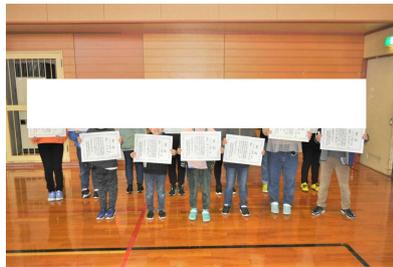
【体育館いっぱい広がって書きました】





第57回秋田県児童・生徒理科研究発表大会で、\*\*\*\*(6年)さんが「齋藤憲三・山崎貞一賞」というすばらしい賞をいただきました。

「災害時に僕は何ができるか?」という研究は、私たちのこれからの災害に対する心構えとして、とても大切なことですね。おめでとうございます。



前号でお知らせした市・県の美術展入賞の皆さんです。

※臨時PTA総会を【誌上開催】しております。

16日(月)に資料をお渡ししましたので、提案内容をご覧になって、賛成いただける場合にはQRコードでご回答ください。ご質問やご意見がございましたら、岩谷小学校(65-2220)までお問い合わせください。回答のメ切は24日(火)とさせていただきます。

第47回秋田県県民体育大会の冬季スキー競技会で\*\*\*\*さん(5年)が「小学5年大回転の部」第2位という成績を収めました。

この大会は、国体や全日本マスターズなどにつながる大きな大会です。すばらしいですね。入賞おめでとうございます。

## 賞状

競技種目 小学5年 男子大回転  
成績 第2位  
岩谷小学校

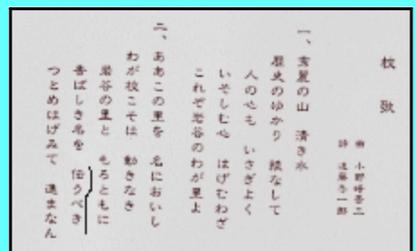
あなたは第74回県民体育大会において優秀な成績をおさめられましたのでこれを賞します  
令和5年1月15日

秋田県知事 佐竹敬久

秋田県スキー協会会長 鶴田有司

秋田県スキー連盟会長 田口将

# 衝撃の事実！ なんと、校歌は4番まであった！？



体育館の正面に掲示している「校歌」の歌詞です。式の度に歌っているのですが、子どもたちは、二番の四行目を「伝うべく」と歌っています。間違っているのでしょうか？この疑問を解決するために、少し調べてみました。

和六十年のアルバムは「伝うべく」となっていたのです。この五年の間に修正されたのだと推測されます。そこで、創立百周年記念誌(昭和四十九年発行)を調べてみると、意外な事実が分かりました。

朝礼の時、唱歌を歌うようになったのは、校舎が日渡に移ってからである。その当時、歌った唱歌は「修身唱歌」といって、歌詞は次の通りである。

我が子良かれと 父母は  
寝ても覚めても 祈るなり  
良き子になりて 人の子は  
親の心を 休めばや

この唱歌は、明治四十五年まで歌われ、大正二年からは「秀麗の山」を歌うようになった。

この「秀麗の山」というのが、校歌の「原型」です。さらに驚くべきことに、

この「秀麗の山」は、四番まであるうちの三番のことです。これらの歌詞は、明治四十二年、時の校長、遠藤与市郎が校歌として作詞し、師範学校の音楽教師が作曲したものである。

と書かれていました。その内容とは？ (次号に続く)